石垣市立石垣中学校創立七〇周年記念事業期成会「趣意書」

令和元年九月吉日

石垣市立石垣中学校創立七〇周年記念事業期成会
■会　長　黒島　健　■副会長　黒島　直茂・大浜　慶功・宮良　直人　■参　与　宮良　信浩

皆様には、日頃より、石垣中学校の教育活動の充実に格別のお力添えを賜り、厚くお礼申し上げます。

唯一、本校は、戦後の学制改革（六・三・三制）により、一九四九年（昭和二四年）四月一日、市街地四ケ字における中学校として、生徒数七〇二名の一四学級編成、職員数二四名の新体制で名実ともに、その第一歩をスタートしました。

以来、生徒数は年々増加し、一九六四年（昭和三九年）には、二、三〇〇有余名、四八学級というマンモス校となり、正規に充実した本校を分離し、石垣第二中学校が設立され今日に至っております。

適　模　化、歴代教職員、生徒の真摯な努力は、もとより、学校関係者、同窓生や関係各位、そして地域の皆様の「地域に根ざす学校」行事等に対するご理解・ご協力により、本校は脈々として輝かしい歴史を刻まれました。

いざ　伝統と実績を重ね素晴らしい実績を残しています。

本校は、日頃の教育活動を展開し、幾多の成果を収めてきました。

なお、文化・スポーツ・学業面における活躍は、伝統と実績を重ね素晴らしい実績を残しています。

創立七〇周年を迎えるこの記念の一節を飾ると共に、今後の一層の発展を期したい。

地域の実情を踏まえ、子どもたちの教育環境の一段の整備充実に向けて、石垣市教育委員会に採納させて頂きます。

お願い申し上げます。

皆様方のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

一、収入の部

◎募金目標額	壱千万円
○国等に対する寄附金	五百万円
■総額	壱千万円
□教育環境整備費	五百万円
□式典祝賀会費	百万円
□記念誌作成費	三百万円
□運営費	五十万円
□予備費	五十万円

一、支出の部

■期成会役員（◎委員長・○副委員長）

★事務局　◎伊舎堂用右　★庶　務　◎金城昌己

★監　事　仲田森和・南　和秀

★企画総務委員会
◎大浜賢二・○宜野座安夫・大濵永寛・砂川　悟・伊舎堂用右・嘉手川里史

★記念事業委員会
◎山城　環・○安慶名誠・当山哲郎・荷川取保・金城昌己・登野城栄昌・手登根龍太郎
崎山英祐

★募金委員会
◎石垣三夫・○金城賢介・下地寛正・富永　忠・宮城　皓・髪川敏憲・玉代勢治
徳山純英・武富弘次

★記念式典・祝賀会委員会
◎友利和正・○山城結美子・宜野座淳司・田里友悟・中川洋子・宮里阿紗子・又吉きよ子
岡崎由里・与那覇里恵・箕底用一・新城　勝・藤森成代・押尾全悦

★記念誌編集委員会
◎渡久山修・○宮良直人・宮良　薫・石垣俊子・西原貴和子
西銘由紀・金成由貴子・前加良晴美・佐渡山圭吾・大濵朋子・石垣輝幸・湖城優華・久場良子

★顧　問
【歴代校長】島村　修・野田純一・渡慶次賢康・黒島精耕・志喜屋清・金城文雄・鳩間真英・松原英男
平良信明・仲田森和・南和秀
【学校評議員】宮良長利・金城文雄・石垣三夫・宮良直人・箕底用一

■連絡先　〒九〇七―〇〇二四　沖縄県石垣市字新川三〇七番地（石垣市立石垣中学校内）
電話　〇九八〇（八二）三〇七〇　ＦＡＸ　〇九八〇（八二）四六五三　★事務局　伊舎堂用右

■振込先

振込先金融機関名	記号・店番	種類	口座番号	預金口座名
琉球銀行	七〇三	普通	一〇二一八四六	石垣市立石垣中学校 創立七〇周年記念事業期成会 会　長　黒　島　健
沖縄銀行	六〇一	普通	一八七九七七四	
沖縄海邦銀行	〇八〇	普通	八〇九六九八	
沖縄県労働金庫	九六二	普通	三四三二八一〇	
ゆうちょ銀行	一七〇七〇	普通	一八七七〇〇四一	※銀行窓口備え付けの用紙をご利用下さい。